

J-210 メンテナンススタンドストッパーキャスター低床 組立手順

このたびはJ-210をお買い上げいただきありがとうございます。
組み立てる前に下記を良く読んで組立をしてください。

箱に入っているパーツを確認します。(5と7は組まれています)

to	品番	品名	数
1	J-204S-A	メンテナンススタンド用フレーム1178	2
2	J-204S-B	メンテナンススタンド用フレーム625	2
3	J-210-C	メンテナンススタンド用38角レール1340	2
4	IB040090AB	38角ブラケット90mmコーナー (旧品番J-204S-D)	4
5	JL104	ランチャー用すべるレール 1.33mフルー	2
6	K115-1	J-204S用キャスター4132S-1R100BAR01	4
7	Z6028-1	38角用エントキャップスリット丸穴付黒	4
8	P06-08	SUSワッシャーM8	48
9	P05-08	SUSスプリングワッシャーM8	24
10	P04-8-60	SUS六角ボルト8-60	24
11	P07-08	SUSナットM8	24
12	J-204S-E	メンテナンススタンド用ツブレ止パイプカ	4



コチラのQRコードより
弊社通信販売にて
交換部品販売しております。

■使用する工具
◎スパナ13番
もしくはモンキーレンチ

- 組立てをする前に完成写真をよく見て、全体のイメージを頭の中で作ってください。
各ネジ類を締める際は潤滑剤等を塗付して締めるようにしてください。

■ 組立手順

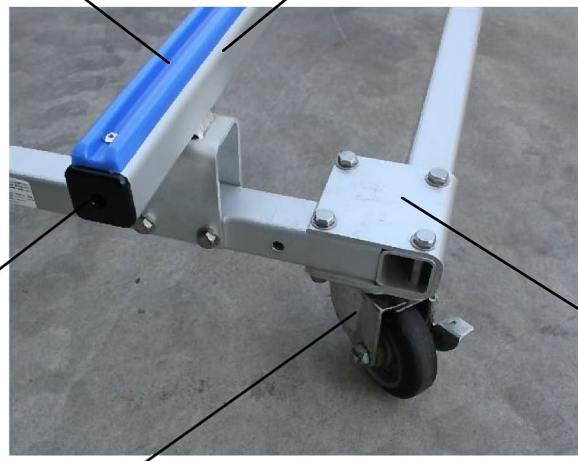
- A. 前後フレームと左右フレームを90度に合わせます(左右フレームが内側)
合わせた角にコーナブラケットを前後フレーム側から差込みフレームと穴を合わせ
上からM8ワッシャー、ボルト8-60を差します、この時フレームにかからない内側の穴にはつぶれ止めパイプカラーを入れてください。
下側にはキャスターを取り付けM8ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットにて仮締めします
同様に残りの3ヶ所コーナーも組み立て最後にナットを締めてください。
- B. 四角に組まれたフレームに38角レールを差込み、レールパイプの穴と左右フレームの穴を合わせM8ワッシャー、ボルト8-60を差し
反対側からM8ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットにて締めます。

組立等、不具合が生じた場合はお買い求めの販売店様へご連絡ください。

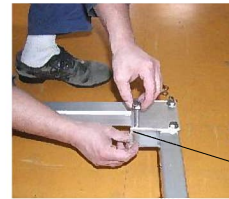
■ 使用上の注意

- 高い位置からの乗せ移し(トラック荷台等)は危険です、スタンドの破損の原因になります。
- ジェットを真上からドスン!と乗せると破損します、必ずゆっくり降ろすか前後からスライドさせて乗せてください。
- ジェットの上に人を乗せての積載は破損しますのでおやめください。
- ご使用前必ずボルト&ネジ類、ベルトのゆるみがないか確認してください、ゆるんだまま使用しますと事故破損の原因になります。
- 適応艇以外の艇は乗せないでください、破損の原因になります。
- 転覆等で水が浸入した艇は予想以上に重量が増えていますので必ず排水してから乗せてください。
- 極端にすり減ったレールカバーでのご使用は船体が傷つく恐れがあります、必要に応じて交換してください。
- 万一誤った組立て、もしくは使用方法でのトラブルには応じかねますのであらかじめご了承ください。
- 不明な点、その他お問い合わせありましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。

J-210



完成写真



⑫

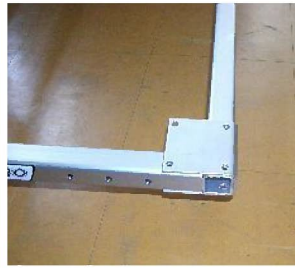
つぶれ止パイプカラー

●3人乗までのPWCまたは和船18ftまで以外は積載しないでください！破損の原因になります。その他使用上の注意をご確認ください。

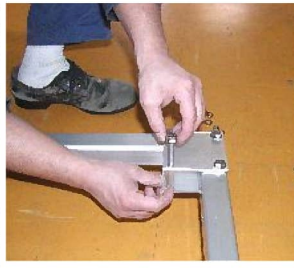
A



①前後フレームと
②左右フレームを
写真のように
合わせます。



合わせた角に
④コーナー
ブラケットを
前後フレーム側から
差込みます。



④コーナーブラケットに
M8ワッシャー、
ボルト8-60を差込みます
内側の穴にはつぶれ止め
パイプカラー⑫を
入れてください。



④コーナーブラケットの
下側には⑥キャスターを
取り付けM8ワッシャー
スプリングワッシャー
ナットにて仮締めをし
その他のコーナーも
同様に組みます。

B

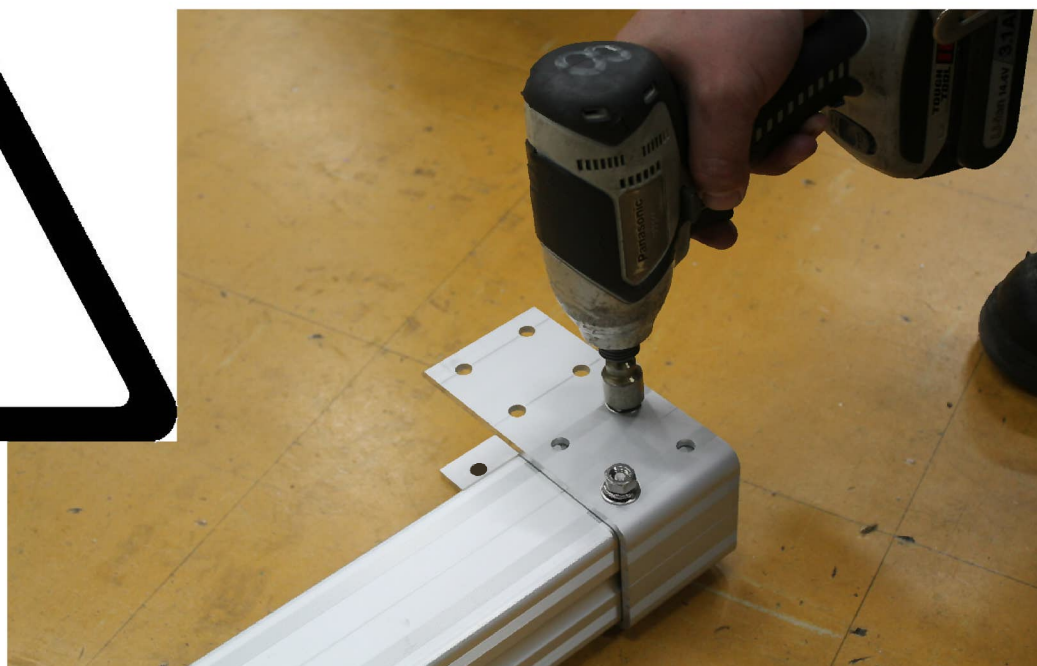


四角に組まれたフレームに38角レールを差込み、
レールパイプの穴と左右フレームの穴を合わせM8ワッシャー、ボルト8-60を差し
反対側からM8ワッシャー、スプリングワッシャー、ナットにて締めて完成です。

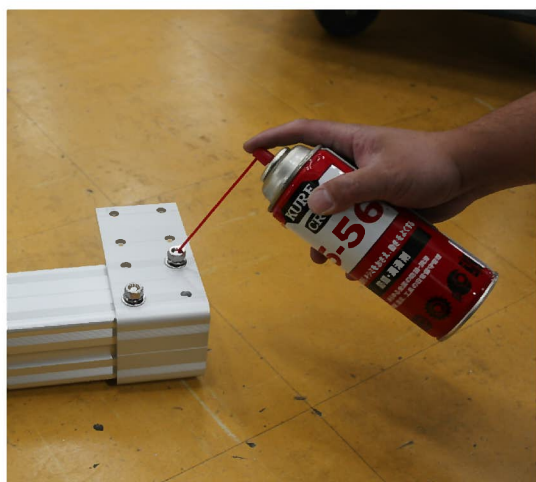
<<ボルトの締め付け、取扱い注意>>

ステンレスのボルトやナットをインパクトレンチなどで急激に締め付けるとネジの嵌め合い部で摩擦による熱が発生し、その熱によってネジ部が膨張し、オネジとメネジが密着し焼付きを起こし動かなくなることがあります。そのまま締め付けていくとボルトが折れることもありますのでご注意ください。
また必ず潤滑剤を塗布してから締め付けをしてください。

ナイロンナットにはすでにオイル等を塗布してパックされていますが、地面に落としたり、砂埃で砂が付着した際はきれいにしてから再塗布をし締め付けをしてください。



急激な 締め付け注意！



潤滑剤を塗布してください。